

新規事業評価調書

【交通安全施設事業】

一般県道 志染土山線

主要地方道 神戸加古川姫路線【野谷交差点】

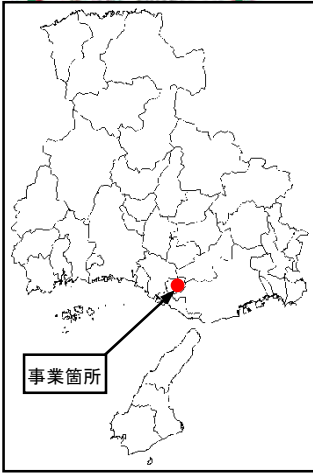
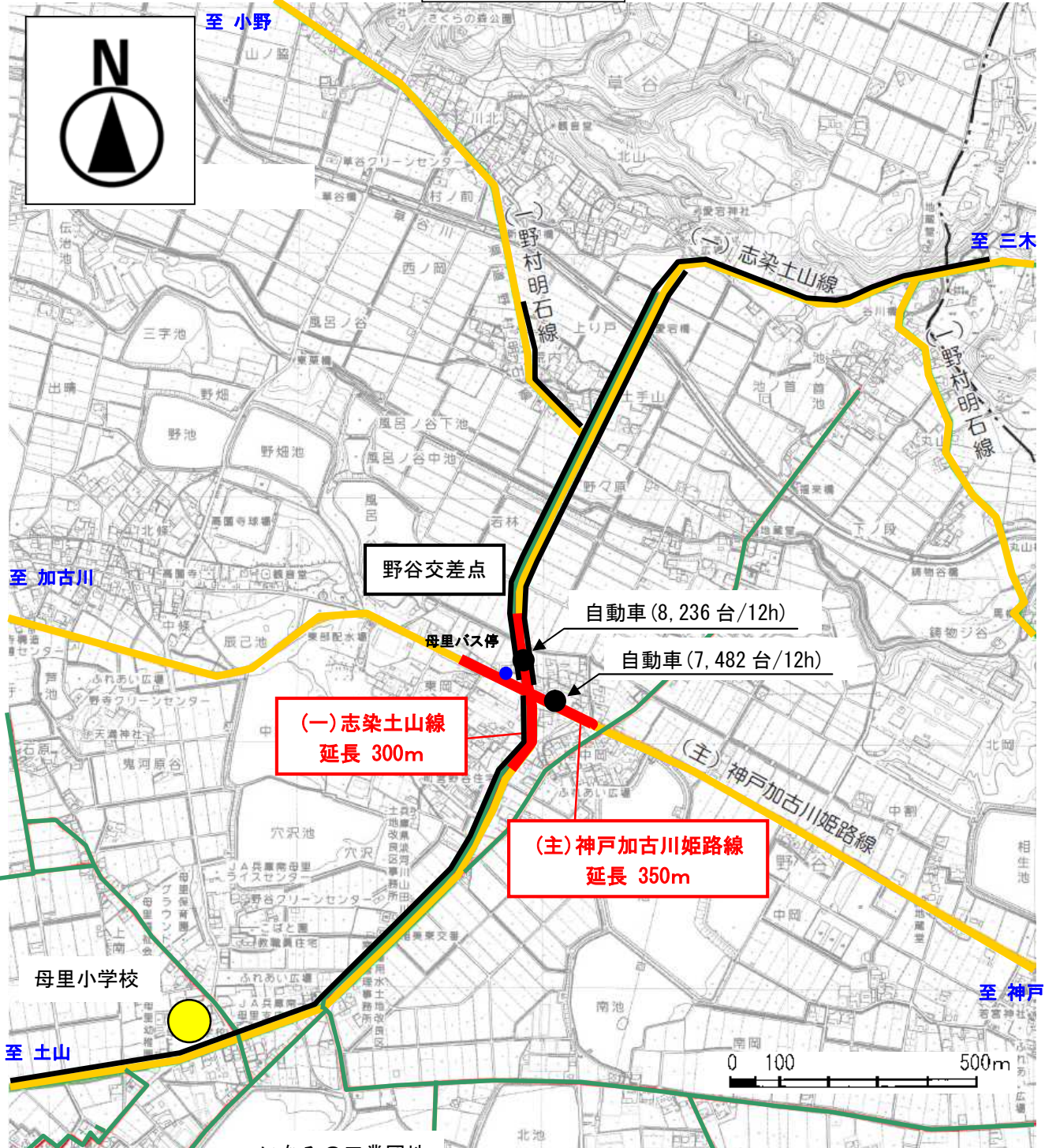
県土整備部

土木局 道路保全課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 濱 浩二 (主幹 山名 孝志)	内線	4389 (4399)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
交通安全 施設事業	一般県道志染土山線 主要地方道 神戸加古川姫路線	稲美町 のだに 野谷	1.5億円	0.8億円	平成27年度	平成29年度
事業目的			事業内容			
<p>○渋滞の解消</p> <p>野谷交差点は、県道志染土山線と県道神戸加古川姫路線が交差する東播磨内陸部の交通の要衝であり、交通量が多いにも関わらず、右折車線が設置されていないことから渋滞が慢性化し、早急な対策が求められている。</p> <p>※「新渋滞交差点解消プログラム(H26～30)」対象交差点 このため、両路線で交差点改良を行い、自動車の円滑な交通を確保し、渋滞の解消を図る。</p>			<p>交差点改良（右折車線設置） 延長： 志染土山線 300m 神戸加古川姫路線 350m 現況交通量（H26.4実測 12h） 自動車：志染土山線 8,236台 神戸加古川姫路線 7,482台 〔負担割合 国:55%、県:45%〕</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 当該交差点は、ピーク時には渋滞長が300mにも達し、渋滞が慢性化している。 （最大渋滞長300m、最大通過時間7分、最大信号待ち回数3回）</p> <p>② 両路線とも自動車交通量が多く、特に、周辺に工業団地が位置していることから、大型車混入率は高い数字である。 （志染土山線 8,236台(23.7%) 神戸加古川姫路線 7,482台(21.8%)） ※ 台数は12時間交通量で、()内は大型車混入率</p> <p>③ 加古川・土山駅と母里(折り返し地点)を結ぶバス路線であり、渋滞解消により定時性が確保される。(2系統、往復42便/日)</p> <p>④ 過去5年間の事故件数は、10件(信号待ち車両への追突8件、右折時による衝突2件)。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 右折車線の整備により、円滑な交差点処理が可能となり、渋滞解消とともに、事故の減少が期待できる。</p> <p>② 稲美町が用地の一部を先行取得しているとともに、地元調整を進めているなど、事業執行環境が整っている。</p>					
(3) 環境適合性	<p>① 歩道舗装を透水性舗装とし、雨水の地下への還元を図る。</p> <p>② 渋滞解消により、騒音及びNOx等の軽減に寄与する。</p>					
(4) 優先性	<p>① 「新渋滞交差点解消プログラム(平成26～30年度)」の対象交差点であり、早期の整備が必要である。</p>					

位置図

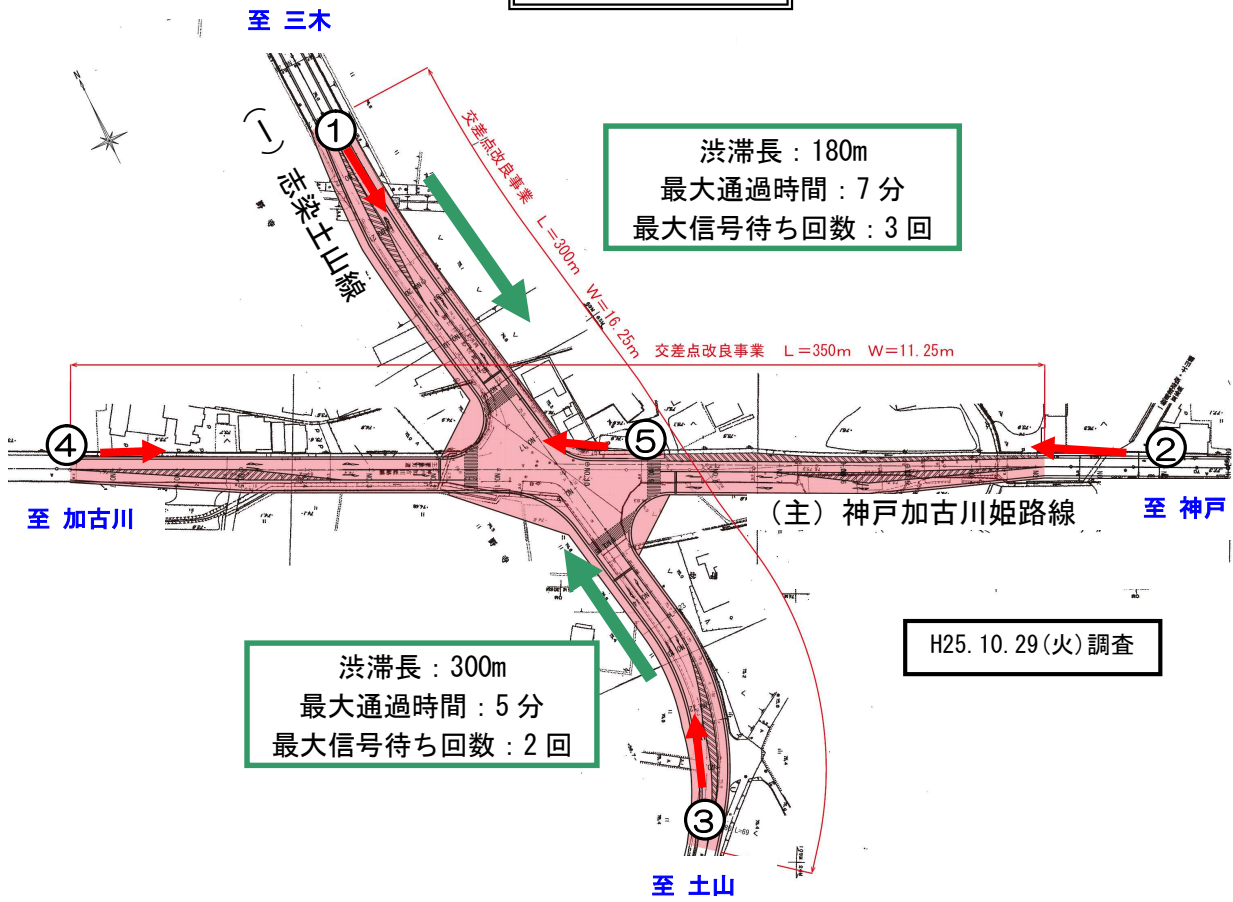


いなみの工業団地

凡例	
事業箇所	— (Red line)
県道	— (Yellow line)
既設歩道	— (Black line)
小学校通学路	— (Green line)

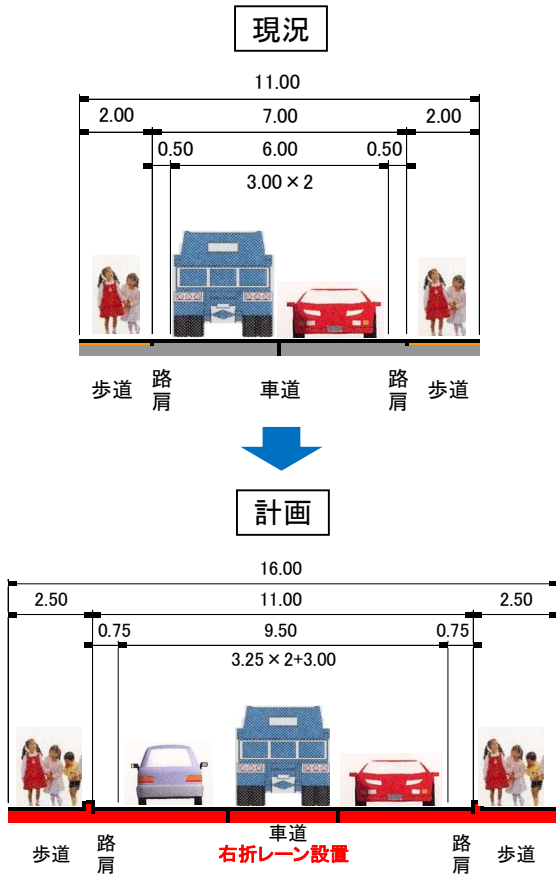


平面図

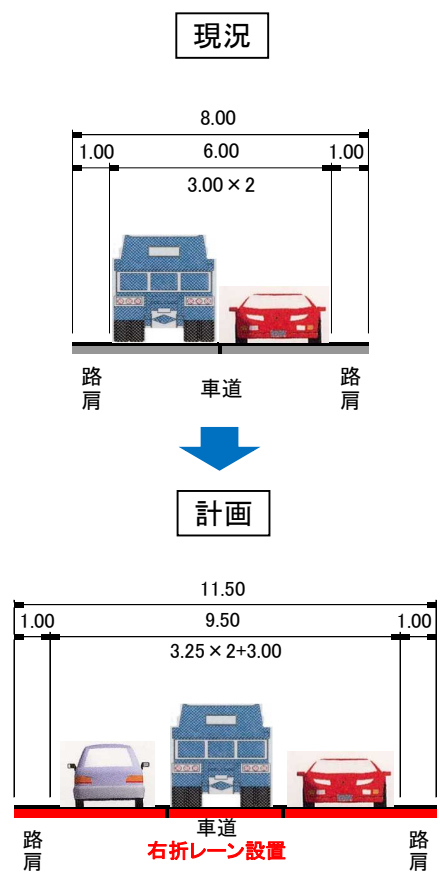


標準横断図

(一) 志染土山線



(主) 神戸加古川姫路線



状 況 写 真



整備スケジュール

工 種	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
測量・設計	■											
用地取得				■								
本工事						■						